

プレスリリース 2024.01.15



コレクション展
かさねのガラス
Collection Exhibition
Glass: Layered Depth

2023 2024
12.9sat—6.2sun

富山市ガラス美術館 4階 展示室4・透ける収蔵庫
Exhibition Room 4 & Transparent Storage(4F)

TOYAMA 富山市
キラリ ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

開場時間 午前9時30分—午後6時(金・土は午後5時まで、1/2、3は午後5時まで。入場は開場の30分前まで)
観覧料 一般・大学生200円、高校生以下は無料
休場日 第1・3水曜(1/3、3/20、5/1を除く)、年末年始(12/29-1/1)、1/10、3/27、5/8
お問い合わせ(主催) 富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山市西町5番1号 Tel:076-461-3100 Fax:076-461-3310
※営業時間などは変更する場合があります。詳細はウェブサイト(<https://toyama-glass-art-museum.jp>)をご覧ください。
※富山市美術館(富山の館)(図説)2018年、撮影:本誌編集部、20の層を穿て(Layers of Light・Height)(図説)2011年、撮影:本誌編集部

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

TOYAMA 富山市
キラリ ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

展覧会概要

展覧会名	かさねのガラス
会 期	2023 年 12 月 9 日（土）～2024 年 6 月 2 日（日）
会 場	富山市ガラス美術館 4 階 展示室 4、透ける収蔵庫
主 催	富山市ガラス美術館
開場時間	9：30 – 18：00 (金・土曜日は 20：00 まで、1/2、3 は午後 5 時まで。入場は閉場の 30 分前まで)
閉 場 日	第 1・3 水曜日、年末年始（12 月 29 日（金）～1 月 1 日（月）まで）、1 月 10 日、3 月 27 日、5 月 8 日（予定） ※ただし、1 月 3 日、3 月 20 日、5 月 1 日は開場
観 覧 料	一般、大学生 200 円（170 円）、高校生以下は無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金 ※本展観覧券でグラス・アート・ガーデン（6F）もご覧いただけます。 ※企画展の観覧券をお持ちの方は、本展およびグラス・アート・ガーデン（6F）もご覧いただけます

展覧会について

今回のコレクション展では「重ねる」をキーワードに、当館の所蔵作品をご紹介します。薄い板ガラスを何枚も集積させる、複数の色のガラスを被(き)せる、重ね合わせたガラスを削り出して形作る…など、ガラスの作品には重ねるからこそ得られる様々な表情が見られます。これらの作品では、下の層の色や模様が透過することによる独特の立体感や、複雑な光の反射・屈折による視覚的効果といった特徴的な様相を見ることができます。重ねるという行為は、ガラスの特性を最大限に生かすことのできる手法のひとつと言ってもよいでしょう。本展示を通して、重ねることで生み出される、ガラスの多彩な表情をご覧いただければ幸いです。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

1 深みをなす

透明な板ガラスを何層にも重ねると、そこに描いた絵や模様の重なりを見せることができます。1 枚の板ガラスは平面的ですが、それらを積層させることで、模様が立体的に浮かび上がったり、時にはガラスの中に実際以上の深みや奥行きを感じさせたりします。ここでは、平面を重ねることで作品内部に生まれる立体感に着目し、作品をご紹介します。二次元と三次元が交錯するような、不思議な表現をお楽しみください。



1. 渡辺知恵美《清流の燈》 2018 年 撮影：末正真礼生



2. ポフミール・エリアッシュ《マイクロワールド II》 2003 年
撮影：末正真礼生



3. パヴェル・ムルクス《IN BETWEEN II》 2003 年 撮影：末正真礼生

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

2 いろを織りなす

ここでは、素地となるガラスに別の色ガラスや異素材を重ねることにより、多様な色彩感を表現する作品をご紹介します。透明なガラスは、内部に閉じ込めた色の層を外側に透過して見えます。また、ガラスと金属箔などの異素材を組み合わせることで、独特の色や質感が生まれます。重ねるからこそ可能となる、深みのある色彩やバリエーション、立体的な色の構成に注目しながら作品をご覧ください。



4. ハーヴェイ・K・リトルトン《黄色の冠Ⅱ》 1984 年
撮影：斎城卓



5. ハーヴェイ・K・リトルトン《内包された運動》 1988 年
撮影：斎城卓



6. トマーシュ・フラヴィチカ《スペシャリスト》 2004 年 撮影：末正真礼生

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

3 量感を生み出す

板ガラスを重ねる表現は内部を見るものばかりではありません。ここでは、板ガラスを重ねた造形で、量感を感じさせる作品をご紹介します。身近でありながらも、工業的であるために芸術表現の素材としてはイメージしづらい板ガラスですが、それらを重ねて立体的に形作られた作品は、時にダイナミックであったり、時にどっしりとした存在感を備えていたりします。本来は工業製品として作られた板ガラスが、アートの素材として変貌を遂げた姿をお楽しみください。



7. 家住利男《P.041199》 1999 年 撮影：末正真礼生



8. 小島有香子《Layers of Light -Night-》 2011 年 撮影：末正真礼生

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

出品作家

渡辺知恵美、ヤロスラフ・シャーラ、ボフミール・エリアッシュ、パヴェル・ムルクス、
ハーヴェイ・K・リトルトン、木越あい、中村敏康、小林貢、トマーシュ・フラヴィチカ、塚田美登里、
ヴァーツラフ・ツィグレル、小島有香子、家住利男（順不同）

関連プログラム

ギャラリートーク

参加無料 申し込み不要

日 時：2023 年 12 月 24 日（日）

2024 年 1 月 21 日（日）、2 月 10 日（土）、2 月 25 日（日）、3 月 2 日（土）、3 月 17 日（日）、4
月 7 日（日）、4 月 21 日（日）、5 月 5 日（日）、5 月 19 日（日）、6 月 1 日（土）

各回午後 2 時より開催

会 場：富山市ガラス美術館

- 事前申し込みは不要です。
- 展示室への入場には、本展観覧券が必要です。
- 関連プログラムの詳細は、美術館ウェブサイトやSNSなどでお知らせします。
- プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。
- 最新の情報は美術館ウェブサイトにてご確認ください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館概要



9



10

富山市ガラス美術館は、「ガラスの街とやま」を目指したまちづくりの一環として、2015年8月に開館しました。本美術館は富山市立図書館本館などが入居する複合施設「TOYAMA キラリ」内に整備され、富山市の中心市街地に位置することから、文化芸術の拠点としてだけでなく、まちなかの新たな魅力創出の役割を担ってきました。

世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した開放的な空間となっています。

常設展として、アメリカの現代ガラスの巨匠、デイル・チフリー氏によるインスタレーション作品を展示する6階「グラス・アート・ガーデン」のほか、所蔵作品を紹介する4階「コレクション展」や2階から4階の展示室壁面などに富山ゆかりの作家が制作した作品を展示する「グラス・アート・パサージュ」があります。また企画展では1950年代以降のグラス・アートを中心に、様々な美術表現を紹介しています。

交通アクセス

〔富山駅より〕○徒歩20分 ○市内電車南富山駅前行に乗り、「西町（にしちょう）」下車、徒歩1分
○市内電車環状線に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩2分（富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約10分）

〔富山空港より〕○地鉄バス（富山空港線）「総曲輪（そうがわ）」下車、徒歩4分

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館公式 SNS アカウント



Instagram

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Facebook

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Youtube

チャンネル名
ToyamaGlassArtMuseum 富山市ガラス美術館

報道関係のお問合せ先

富山市ガラス美術館

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310 E-mail bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp（代表）

広報担当：渡辺、小谷 展覧会担当：米田

広報用画像の貸出しについて

p.3～5、7 の画像 1～10 を広報用に貸出します。ご希望の方は、p.9 の画像貸出し申請書の使用条件をご確認の上、メールまたは Fax にて上記の美術館広報担当へ申請書をお送りください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者：

Tel： Fax：

E-mail：

住所：

団体名：

富山市ガラス美術館 画像貸出し申請書

次のとおり、掲載用素材として「コレクション展 かさねのガラス」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名：

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ ）

3. 掲載の趣旨

別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時：

5. ご希望の画像番号：

☐ 画像は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、縦横比の変更、文字のせはご遠慮ください。

☐ 画像掲出には別途指定するキャプションを必ず入れてください。

☐ 展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。

☐ 商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

☐ 画像の2次使用はご遠慮ください。

※画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。

☐ 校正ゲラの段階で情報の確認をさせてください。

☐ 記事が掲載された場合は掲載見本（DVD、掲載紙、掲載誌等）を美術館広報担当へご寄贈ください。

申請書送付先：富山市ガラス美術館 広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp